



探究科の2年次生が、第11回全国ユース環境活動発表大会に出品しました。

探究科

環境省などが主催する第11回全国ユース環境活動発表大会に、表に示した探究科2年次の公民1班と化学1班が出品しました。

本大会は、大量生産・大量消費・大量廃棄の経済活動・日常生活が、生物多様性の損失を引き起こし地球環境に限界をもたらしつつある現代、高校生一人ひとりが、社会全体の行動変容に向けて、ライフスタイルを転換し、SDGsにも取り組みつつ、将来の世代が安心して暮らすことのできる持続可能な社会を目指す人材の育成を目的とされています。

プラスチックごみの削減について研究した公民1班は、生分解性プラスチックを活用した課題解決を目指しました。生分解性プラスチックが、土や海水の中で分解される様子を観察したところ、自然界で分解されるといわれている生分解性プラスチックも、条件によっては分解が促進されないことがわかりました。適切な条件を設定して処理することが大切であることから、その方法を普及していく方法をまとめて出品しました。また、乾電池のリサイクルに取り組んでいる化学1班は、使用済乾電池に生じた亜鉛イオンを分離し、塩基

や酸を加えて沈殿させ、酸化亜鉛の生成をめざしています。使用済み乾電池に残っている金属亜鉛のリサイクルは、様々な企業が取り組んでいますが、電解質溶液中の亜鉛イオンの回収はあまり取り組まれていません。このたびにつくった酸化亜鉛は、紫外線を散乱させる効果があるため、日焼け止めなどとして活用できないか研究しています。

残念ながら、2班とも事前審査を通過できず、12月14日(日)に広島で開催された中国地方大会に出場することはできませんでしたが、これからもしっかりと結果をまとめて、様々な発表会に備えてください。

第11回全国ユース環境活動発表大会に出品した研究班と研究テーマ

研究班	研究テーマ
公民1	プラスチックをPLASTICな思考で考えよう
化学1	使用済み電池が日焼け止めに大変身!?!?!かも?



使用済乾電池からゲル状の電解質溶液を取り出す化学1班



生分解性プラスチックの分解について実験する公民1班

文芸部の1年次生が、高校生文芸道場中国ブロック大会で「最優秀賞」を受賞!

普通科

探究科

11月15日(土)に下松市のスターピア下松で開催された、第27回高校生文芸道場中国ブロック大会文芸コンクールの散文部門に、文芸部の1年次生2人(ともに文理探究科の生徒である。)が出場し、それぞれ最優秀賞(1位)と優秀賞(2位相当)を受賞することができました。参加した2人は、第23回高校生文芸コンクール山口県大会の散文部門でそれぞれ最優秀賞と優秀賞を受賞したことから、このたびの出場につながりました。なお、中国ブロック大会出場には届きませんでしたが、山口県大会において、探究科の3年次生1人が散文部門で、また、普通科の3年次生1人が詩部門で入選をいただくことができました。



第23回高校生文芸コンクール山口県大会で入賞した生徒(中央)の2人が、第27回高校生文芸道場中国ブロック大会に出場

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。

26人の生徒が、九州大学や山口大学の留学生とオンラインで交流しました。

普通科

探究科

九州大学や山口大学の留学生との第2回オンライン交流会を12月23日(火)の午後5時から開催し、26人の生徒が参加しました。参加した生徒は、普通科の2年次生が5人、探究科の2年次生が10人、文理探究科の1年次生が11人で、留学生は7人が参加していました。本校生徒は2～5人からなる7つのグループに分かれて、それぞれ自己紹介から始めました。

交流では、本校生徒が、事前につくったスライドを使って日本の学校生活や行事、しくみを紹介するとともに、留学生が母国の学校生活を紹介しました。1日の学校生活を説明した生徒は、学校へ通学する方法、学習する教科やその内容、昼食、清掃活動、部活動などを説明しました。また、学校行事を紹介した生徒は、体育大会や文化祭(本校では、「旭陵祭」と呼んでいます。)、クラスマッチなど全校生徒が参加する行事を説明するとともに、2年次生は、先日東京や台湾を訪問した校外研修を紹介しました。そして最後に留学生と理想の学校について考えました。



グループで協力して、学校行事を紹介する生徒



交流会に参加する生徒

はじめは、英語で会話することに躊躇している生徒もいましたが、2回の活動を通じて、英語を積極的に活用しようとする意欲をもつようになりました。

探究科の2年次生が、SDGs QUEST みらい甲子園に出品しました。

探究科

SDGs QUEST みらい甲子園2025年度山口県大会に、探究科2年次の表に示した3つの研究班が応募しました。未来教育株式会社等が主催する標記大会は、アイデアや構想だけでも応募できるアクションアイデアコンテストです。高校生の着眼点や発想、独自性から地域特有の課題解決策を考え、生み出した解決策を多様な人々と社会で実装していくことを目指しています。それぞれの研究班は、4月から発展探究の授業で取り組んできた課題研究の成果を6枚のスライドにまとめて出品しました。1月21日(水)に出品したスライドをもとにして一次審査が行われ、公民2班が3月5日(水)に開催される最終審査に進出するファイナリストに選ばれました。

SDGs QUEST みらい甲子園に出品した研究班と研究テーマ等

研究班	研究テーマ
地理歴史	クジラを知ろう!! ～鯨の現状を再認識し、鯨食普及に繋げる～
公民1	プラスチックをPLASTICな思考で考えよう
公民2	下関空き家COMMUNITY ～空き家問題について知ろう!～



SDGs QUEST みらい甲子園に出品した探究科の2年次生

ファイナリストに選ばれた、公民2班は、下関市の空き家問題を解決するため、地域の方々の意見を伺いながら、様々な活用方法を探ってきました。そして、私たちに身近な自習室として活用することを考えています。11月13日(木)には、下関市役所を訪問し、空き家問題を担当されている職員のみなさんに、こうした解決策を披露しました。職員のみなさんからは、空き家に続く道が狭いため、重機を入れて空き家を解体することが難しいことや、建築基準法が改正されているため、空き家を解体すると、同様の規模の建物を新築できないことがあるなど、空き家問題を解決する際の課題を具体的に教えていただきました。



下関市役所で、職員のみなさんと意見交換を行う公民2班

公民2班の生徒は、これから5分間の動画を提出して、最終審査に臨みます。研究成果がしっかり伝わる動画を目指してください。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。